

# 根ほり 葉ほり

心とからだの栄養になるものを

セレクトショップ  
MICHIIYA をオープン

吉野 路子さん



商品はバラエティ豊か。値段も10円から数万円まで



ワイがや通りの京成津田沼駅近くに、去年12月、気になるお店がオープンしました。若い女性オーナーが「つひとつこだわった商品を集めた「MICHIIYA」」。こういうお店のあるまちが、ほんとうに豊かな住みよいまちだと思えます。オーナーの吉野路子さんに会いに行きました。

木の香の漂うようなお店に足を踏

み入ると、お茶や調味料、陶器、

民藝品などさまざまなものが並んでいて、興味が尽きません

お客さんは最初、「何のお店ですか」と聞く方が多いですね。

私が「いろいろなものを置いています。どうぞご覧になってください」と申し上げると、興味深そうに見て行つてくださいます。

商品は、私が「いいな」と思つて集めたものばかりなので、食べものだったり、雑貨だったり。「何屋さん？」と言われると「セレクトショップ」というところでしょう。

「心とからだの栄養になるもの」を集めています。それぞれ存在感があります。が、けんかは、しません。

こういうお店を始めようと思ったきっかけは――

私は手仕事に興味があつて、学校を出てから島根のほうへ行つていました。

奥さんが綿栽培、手つなぎ、手織り、本藍染めを、ご主人が焼きものをなさつていて、自然の中で暮らすと仕事が一休となつてることが素晴らしいものに思えました。

修業後、私も綿を育てるところから藍染めをしたと思うようになりました。

綿を植える畑も借りなければならぬし、藍染めには大量のきれいな水が必要だし、ずいぶんいろいろ搜しました。千葉県も、いい場所がみつかつて鹿児島へ行つたのですが、そのとき祖父は「海を越えたら、もう戻れないと思え」と言いました。

これからこのお店がどんな形でこのまちや人びとに浸透していくのかも楽しみです

私が気に入つて身につけている商品も置いたら、すごい人気で入荷待ちになつたということも。辛味大根や聖護院かぶなど珍しい野菜が届く日を待っていてくださる方もあります。

でも、私の夢はお店にとどまりません。200坪あるこの庭と家をレンタルスペースやギャラリーとして活かしたいのです。庭は荒れているし、家もすぐには使用できません。

少なくとも半年ぐらいかけて整備していかないと。個展やミニコンサートなどができたらどんなにいいでしょう。

そう思うだけで、わくわくしてきます。こんな私の夢を実現するには、一生かかるかもしれません。

この私の夢の構想がこのまちに、そしてこのまちの方々に必要とされるものであればうれしなと願っています。

私自身、そうなることを覚悟して行きました。

素晴らしい環境で、人にも自然にも恵まれ、そこで綿を育て藍染めをして過ごしました。

ところがあるとき、この津田沼の家を取り壊してマンションにするという話がもち上がったのです。

広い庭に蔵もあり、明治7年に建てられた母屋はまだ100年ほもつだろうといわれているこの家を継ぐのは、私しかいないのです。

それで、今は亡きおじさまがこの家にかけていらつした想いを継いでいこう――

そうです。10年ほど離れていた習志野に帰ってきました。

ワイがや通りに面したこの家は店舗になつていて、お茶とたばこを扱っていました。

その部分の天井や柱をそのままに、装いを新たにしました。